

# 会報

NPO法人・日本抜刀道連盟

## 事務局

〒二二一〇〇二二  
川崎市幸区中幸町一十七  
電話 〇四四一五五八六六〇  
FAX 〇四四一三三七五四四

## 制定刀法伝達講習会終わる

毎年恒例の制定刀法伝達講習会（以下講習会とする）が、六月十二日、神奈川県立武道館でおこなわれた。  
今年の講習会は、東日本大震災で武道館が被災者の避難所に指定されたため、一時は開催が危ぶまれたが、四月末に避難所指定が解除され、当初の予定どおり開催することができた。

講習会は午前十時、国旗礼拝で始まった。  
今年の講習会には役員、準備委員も含めて二十五支部から六十二名が参加した（参加者別項）。  
会長挨拶に続いて、午前中は大会審査員講習が行われ、午後から講習会となった。  
昨年の講習会では、改正された組太刀



上・審判員講習

下・中島教務部長の座学



が紹介され、その迫力が注目されたが、今年最後は木刀を使って組太刀の実技が披露された。

### 審判員講習

審判員講習の冒頭中島教務部長が、「審判は公平無私・厳正明確でなければならぬ。試合者が直接の指導下にある場合は交代すること」と強調した。

審判員講習では実際の大会と同じに場所を設定し、一般参加者も積極的に紅白の演武者として参加した。  
演武開始の指示のしかた、紅白の旗の揚げ方、審判結果の判定のしかた、勝負宣言の号令のしかた、など細かい点にまで指導がおこなわれた。  
また演武者となった一般参加者にとっても、一本目から十本目までのどこがポイントなのかなど、大いに参考になった。  
審判員講習は十二時に終了した。

### 制定刀法講習会

午後は予定通り一時から、講習会が行われたが、過去数回改定を重ねたもので、参加者たちも熱心に講習を受けた。講師の先生方にも多少の意見の差もあったが、結局「教本通り」で一致した。  
今年の講習会では座学が取り入れられ、中島教務部長が一本づつ細かく指導した。続いて金子副会長は、デジタルビデオの動画をスクリーンに投影するなど、まったく新しい試みもあった。

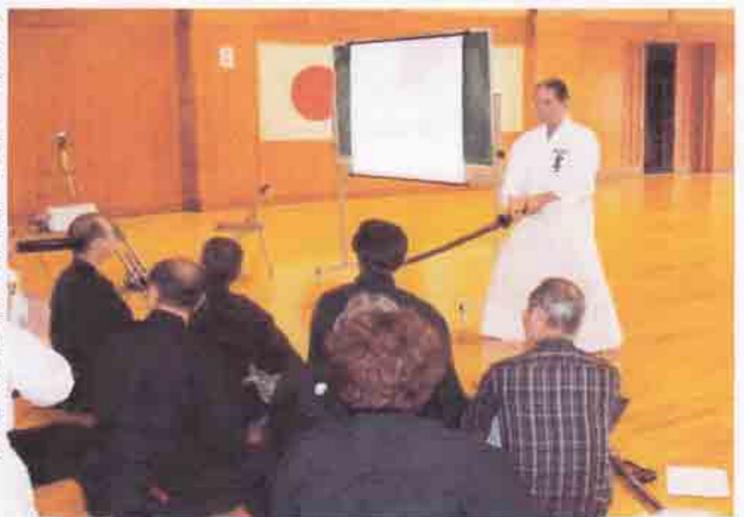
この動画は金子副会長が自らの道場で撮影、編集したもので、ストップモーションを利用したり、ポイントで指すなど具体的な説明があった。  
その後、三つのグループに分かれて教務部の先生方の指導が行われた。  
今年には事前に通達が出ていたのに全員が木刀で実技を行ったが、参加者は十代から八十代までおよそ六十名にもなり、会場一杯に熱気が満ちた。

### 組太刀の演武

昨年発表された組太刀は、今年も講習会の最後に披露された。

打太刀が川崎支部の松井弘八段、仕太刀は同じく川崎支部の大塚光男七段が演武した。演武は木

金子副会長・スライド活用



刀でおこなわれ仮標は置かなかった。  
この組太刀の練習を取り入れた支部も徐々に増えてきているが、相対しているので十分な練習とお互いの呼吸が合わなくては危険である。



左・打太刀の松井八段  
右・仕太刀の大塚七段

また安全面からも、仮標を使っている剣使用については、周囲にも十分な配慮が必要である。

## 全国大会、高段者審査会のお知らせ

来る十月二日（日）午前九時、第二十回日本抜刀道連盟全国大会が、本部道場鹿島神武殿で開催されます。出場申込み締め切り日は八月二十日（土）必着（消印有効）でお願いいたします。プログラム作成など準備の関係上締切日の厳守をお願いいたします。締切り後の出場選手の変更はできません。  
宿泊についてもお申込み後のキャンセルはできません。  
また遠方からの参加者の方々のために終了時間の関係もありますので、団体戦チームは、各支部三チーム以内でお願いいたします。

### 高段者審査会

大会前日の十月一日（土）午後一時から、同じ鹿島神武殿で高段者審査会を行います。高段者審査申込みは、大会同様八月二十日（土）必着（消印有効）で申込みをお願いいたします。

全国大会準備委員長 菅野 茂

### 講習会のご案内

七月三日〓山形支部・山中先生、遠藤先生  
 七月十六日〓青森三沢支部・山中先生、小池先生  
 八月七日〓千葉地区(志保、千葉、八千代)・金子先生、菅野先生  
 八月二十日、二十一日〓島根地区(島根、霞、高知、大原)・大江先生、樋口先生  
 九月三日、四日〓高知支部・樋口先生  
 九月十一日〓千葉地区昇段審査会・中世古先生、金子先生、菅野先生

### 御礼

拝啓 若葉の候、皆様におかれましては御健勝のこととお慶び申し上げます。  
 このたびはお見舞いをいただきまして誠にありがとうございます。

私は福島県の富岡町に住んでいまして剣誠会に所属しています。道場での稽古は技術のみならず人としての道を受け、抜刀道を始めからは充実した日々を送っていました。このたびの震災により私の住んでいる富岡町は被害を受け、また原発事故により警戒区域となり現在は避難をして自宅には帰れない状態が続いています。避難生活では人の温かさを感じ、大変勇気付けられました。これからの復興は大変なことですが、何事も前向きに考え自分にできる事を一つ一つ取り組み頑張っていきたいと思っております。そして抜刀道の稽古にまた打ち込み、心身を鍛錬し充実した生活を送りたいと思っております。  
 敬具

平成二十三年四月三十日

福島県双葉郡富岡町大字仏浜字西原十七二 剣誠会 北郷大輔

### 心に残る言葉 心を磨く (第三回)

特別寄稿 日本抜刀道連盟副会長 中世古勝司

#### 居合道教歌

一、気を込めて 抜くも納むも左手で  
 斬り込む度に送り足せよ。  
 (意) 刀を抜くときも、納刀するときも、十分左手を使いなさい。又斬り込む度に送り足を忘れず後ろ足が居着かないようにしなさい。

二、斬り込みは 弓手(ゆんで) 引き上げ絞込み  
 馬手(めて)を六分にくぼし投げ込め。  
 弓手〓弓を持つ左手のこと  
 馬手〓弓を引く右手のこと

三、居合とは 人に斬られず人斬らず  
 心をもって心を斬るなり。  
 (意) 居合の極意は、「鞘の内」にあり」と云われる所以である。つまり敵に刀を抜かせない。

### 武道用語

#### 一、守破離

(意) 初期の段階が法(のり)を遵守し、身につけて「守」り次に、その法を「破」る。最終に法を離れて、「自由闊達」の境地に達することを云う。

#### 二、序破急

(意) 日本の音楽、舞踏、演劇などで、楽曲構成、演出、速度などに関して三部分または三段を想定する理論用語で、序、破、急の順に速度を増し、拍節的性格が強まる。刀を抜く時この要領で最初はゆっくり、段々早く抜き付ける。

#### 三、撞木(しゅもく) (しゅもくと云う)

(意) 仏具で鐘、半鐘などを打ち鳴らす棒で多くは丁字形をしている。  
 特に全日本剣道連盟では足が「しゅもく」(爪先が外に向くこと)にならない様指導している。

## 英信館支部が東日本被害地救援に活躍

### 復興支援飛行船プロジェクト 地元新聞で大きく報道



このたびの東日本大震災に対して、英信館支部では、桶田正信(おけたまさのぶ)館長を団長として、被災地救援ボランティア団体「飛行船プロジェクト」を立ち上げ、三月二十七日に結団式をおこなった。

桶田正信館長は、リサイクルショップ「飛行船」の社長でそのノウハウを生かして被災地救援活動を始めた。救援活動は、主に物資を被災地にとどけることだが、現地が必要とする物と、送るものの無駄が出ないように、釜石市

のボランティア団体と協力して調整している。  
 英信館は地元の救援物資集積場所として地元市民の協力も多く、今までに、延べ千数百名が県内(栃木県)から参加している。

この「飛行船プロジェクト」は県内の話題になり、地元新聞に大きく取り上げられたほか、地元ラジオ放送でも活動報告コーナーが設けられ、参加ボランティア希望者も増えている。  
 桶田館長(英信館館長)は、「被災地の皆さんのことを知ると、少なくとも一年は続けたい、長期戦です」と話している。

### 講習会役員・参加者

役員  
 会長〓大江正男  
 副会長〓中世古勝司  
 次席副会長〓金子 翼  
 参与〓中北祐嗣  
 参与〓森本武久  
 教務部長〓中島正夫  
 教務部次長〓山中洋二

準備委員  
 事務局次長〓菅野 茂  
 次長〓堀内城夫  
 広報部長〓小林大二  
 会 計〓岡本光正  
 監 査〓佐藤敬子

### 参加者(合計六十二名・順不同)

仙台支部〓井林幹明  
 興心会〓野口常男、保泉正夫  
 錬武会〓小根山勇  
 山形支部〓遠藤仁、佐藤淳一  
 剣誠会〓藤田久男  
 英信館〓桶田正信、小野口忠男、佐藤里香、大野育子、益田幸弘、藤田美香  
 千葉支部〓吉村宙也  
 八千代会〓藤原義彦  
 斉藤塾〓斉藤雄次郎、佐藤友彰  
 鎌倉支部〓糸澤良全、金子薫、関恒義、横山慎平  
 大阪支部〓廣川憲司  
 高知支部〓樋口功  
 川崎支部〓大塚光男、松井弘、吉成公男、高橋道夫、小林勇起雄、中島久夫、阿部夏美  
 静岡支部〓飯田亘、長谷川眞次郎、望月透、高遠秋彦、原田武虎  
 武山会〓田嶋敬、嶋田淳、秋元秀行  
 尚武館〓富田憲介、小林克己  
 忠勇会〓辻井香理  
 飛燕会〓野中源免齋  
 香川支部〓中村照彦、藤島智美  
 鶴心塾〓黛 勲、室谷進一、板東会〓成島正雄、逆井隆、島田義和、日下部幸子  
 城西支部〓奈良武

## 日本抜刀道連盟創立20周年記念誌「足跡と記録」

### 頒布と予約注文について

標記について6ヶ月にわたり「企画・記録収集・構成編集」に取り組んでまいりましたが、この度概算見積りもりの段階になりました。連盟会員にとって大変貴重な資料です。できるだけ多くの皆様が購入されることをお勧めいたします。

写真資料:378枚、本文記事:266頁。 視覚と忠実な資料で編集いたしました。

- ①<非売品>限定印刷、制作原価¥2600~ ¥2800(以内)を予定しております。
- ②<注文方法>各支部で取りまとめ8月25日迄に、FAXまたはメールで事務局にご注文ください。
- ③<受け渡し>10月2日 全国大会会場(以後は実費の送料が発生いたします)。

教務部長 中島正夫